

植物の組織培養

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大橋, 和義 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028638

植物の組織培養

大橋和義

静岡大学技術部教育研究第一部門

1. 目的

コロナ禍で殺菌・消毒への意識も高まっている昨今、試験管等で植物体を培養する組織培養のような無菌操作を行うことにより、カビ・菌・ウィルス等に対して更に意識の高まることと、露地物とは違う組織培養植物についての理解を目的とした。
当初実験する予定だった微生物プレートを作成し手指の常在菌、消毒後との違いの確認は日程の都合で割愛した。

2. 研修内容

実施日 : 令和3年9月16日(木) 14:00~15:30 オンライン
9月17日(金) 13:30~15:00
実施場所 : 工学部8号館生物実験室

1日目は、植物バイオ・無菌処理の方法をオンライン講義した。
2日目の実験当日は、クリーンベンチを使用し無菌操作の説明、滅菌処理、植物体の調整、植え込みを実際に体験する実験を行った
具体的には、人参カサの分割移植、無菌植物の切り出し移植、種子の無菌播種(サボテン)の実習を行った。
作成したボトルプラント は持ち帰っていただいた。

3. 考察

参加者の方々は無菌操作が初めての方なので、普段の仕事とは違う操作に戸惑いながらも無事終了することができた。(その後、汚染の連絡は多少ありました)
今研修を通して、殺菌・消毒の定義を学ぶことで意識が変わったり、無菌操作のような普段の仕事とは違う分野を体験することで新たに興味を持って貰うことができたと思う。
今後は今回できなかった微生物などを用いた実習を通して、無菌(殺菌消毒)の意識を再確認できる事を考えたい。

4. 謝辞

以下の参加者に御礼申し上げます

参加者 : 永田照三、深見智茂、芦澤雅人、志村武彦
(敬称略) 伊藤由希子(オンラインのみ参加)



実験風景



人参のカルス



発芽したサボテン